



『夫婦シリーズ』

「愛のおこぼれ Vol.48」

「夫婦げんかの十か条」 Part2

前回に続いて夫婦げんかのルールについて考えましょう。

6. 「言うことを忍ぶ」

夫婦げんかをしていても、「もう別れよう」とか「もう愛していない」というたぐいの決定的なことばを口から出さないことです。夫婦は「認め合う」関係でなければなりません。「認める」とは、「言うことを忍ぶ」と書きます。つまり、認め合うということは、互いに言うことを忍ばなければならないこともあるということです。

7. 他人をまきこまない

結婚 = 批判許可証だと思っている人がいますが、それは間違いです。夫婦げんかをしていても、第三者の前で結婚相手を非難しないことです。冗談交じりにでも、皮肉にでも言わないことです。

8. 苦い根をはやさない

苦い根とは、心の中にはえる苦々しい思い（うらみとか、赦せない思いなど）

のことです。苦い根は、切って捨ててしまわないと、心の中にはびこって、やがては芽を出して悩みの花を咲かせて周りの人に大きな害を及ぼします。結婚相手につらく当たっているとしたら、苦い根があるしるしです。早く取り除いて捨ててください。

9. 復讐しない

仕返しをしても何の足しにもなりません。「復讐はしない」ということを夫婦げんかのルールにしてください。注意:相手がこのルールを守らなくても、復讐はしないことです！

10. 赦し合う

夫婦関係にしても、国際関係にしても、争いの悪循環を断ち切る唯一の方法は、相手を赦すことです。赦すと損をすると考えるかもしれませんが、実は赦さない本人が一番損をします。相手を赦さないでいると、その赦さない思いが自分を牢獄に閉じ込めて、不自由になります。赦したら解放されます。

結論

夫婦げんかはどちらが勝つか負けるかが大事ではありません。争いが解決したら二人とも勝ちます。ですから「私対あなた」ではなく、「私たち対この問題」という意識を持ってください。夫婦は同じチームなのですから！